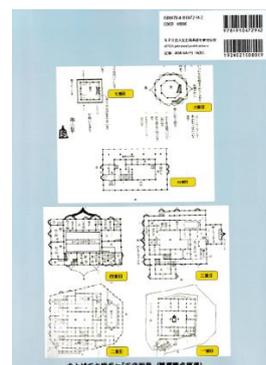
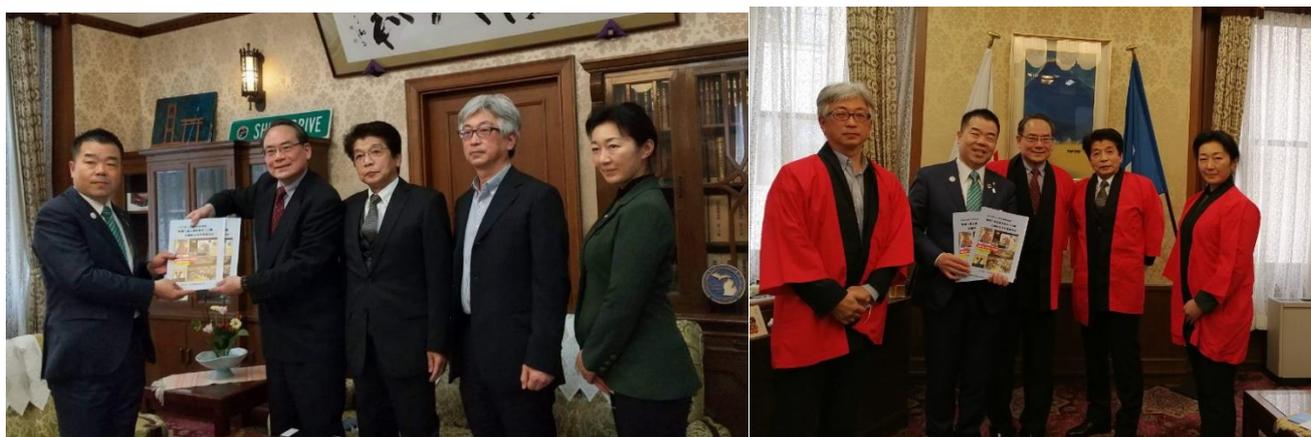


会報 新安土日記第12号

NPO 法人安土城再建を夢見る会
令和3年3月3日

3月1日に三日月知事への出版本贈呈式と記者会見を行いました！



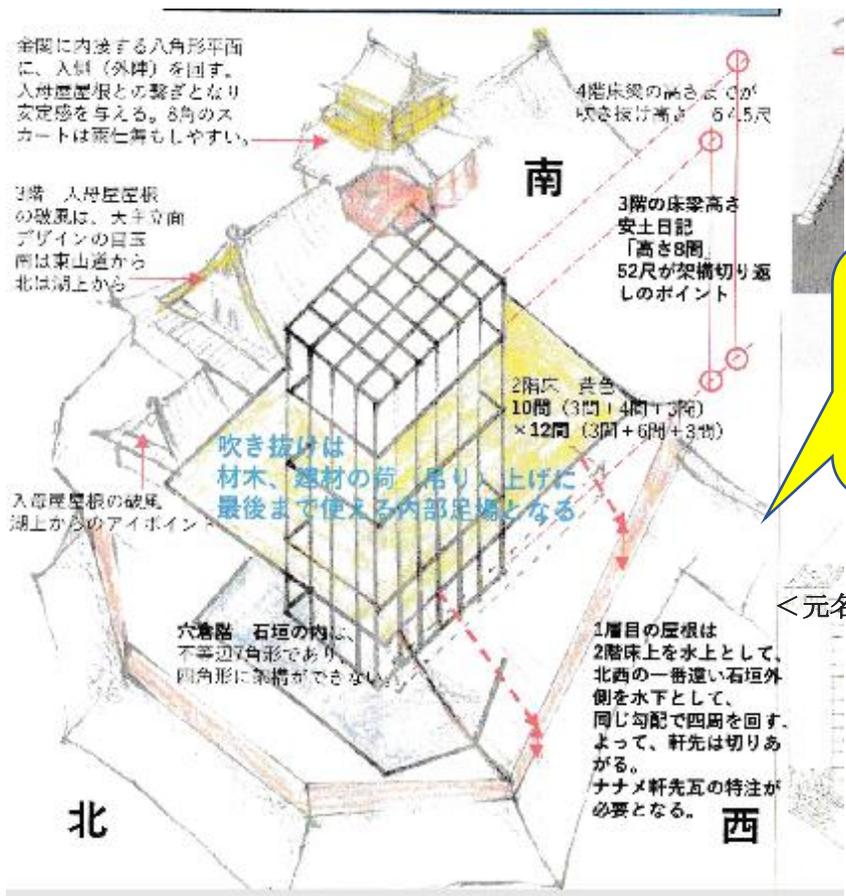
< 3月1日滋賀県知事室にて >

駒井理事のご紹介により三日月知事への出版本の贈呈式を行いました。左上の写真で知事、尾崎理事長、佐竹副理事長、小川海外担当理事、駒井理事です。まず5年前から文化財保護課仲川氏に特別な支援いただいたお礼を申し上げました。その後、イタリアのマントヴァ市の調査内容について説明し、キリスト磔刑の血の聖杯が地下に保管され、8世紀に掘り出されてその上に十字架クロスポイントにキリスト復活を願って八角形の禁足地がつくられ、その上に吹抜け空間（キリストが復活して天に昇るための空間）がつくられたと説明し、その形が安土城天主の宝塔と多宝如来復活を願った仏教の塔の空間と融合した施設であると説明したところ、かなり納得され、興味をもってくださいました。

そして岡部又右衛門は熱田神宮の宮大工で熱田の山車（だし）もつくっていた。旧二条城の建設に池上五郎衛門のメンバーとして加わり、奇抜な発想と高層建築を得意としており、信長が軍船や安土城をつくらせた。信長は望楼型天主のパイオニアであり、その建設の動機は「宣教師から寺院の横に広い入母屋屋根や部屋は醜い。西洋の城のように高い塔にした方がいい。」とアドバイスを受けたからと記録にある。

天主（ゼウス）になりたいは、瓦の紋様（雲車）、神格化宣言、盆山の石にも表現されている。更にシャルル・ボアの「信長の楽園」は信長がローマ法王に贈った屏風絵の情報がかなり反映されており、現地と

の整合性も高い。これは滋賀県の見解とも整合している。そして昭和50年当時に現地調査した名工大建築学科のメンバー（現：名工大建築学科河田名誉教授、満田氏、高橋氏、麓氏など）を代表して高橋氏から急ぎよレポートをいただきました。高橋氏は清水建設の設計士で現在は個人設計事務所を営まれています。三日知事との面談のときに「当会には当時の城を調査した建築の専門家がいます。現状の滋賀県文化財保護課のメンバーは発掘と文献の専門家ばかりで偏っており、その部分の修正をお願いしたい。」と申しあげました。その申し出に知事は結構同意されており、最後は和やかな雰囲気写真撮影になりました。駒井理事にも議会などでフォローをお願いしました。これは当会にとって大きな前進です。



高橋和生様タイムリーな報告とアドバイス有難うございました。まさに救世主でした。お礼を申し上げます！

<元名工大内藤研究室OB高橋氏>

尾崎理事長がZTVの「はちすま！」に出演します。ご覧ください！

3月2日にZTVの谷口さんが取材にこられ、本の出版について「はちすま！」で紹介したいので、撮影させてほしいとのことで対応しました。対応者は尾崎理事長、佐竹副理事長、岡田さんです。撮影は2分くらいの動画を質問形式で回答しました。テイク2くらいでOKが出たので、まずまずの出来と思っています。コメントや感想などあればメールしてください。

放送時間 3/7、8、9 (7:45、19:45、23:45)

3/10~13 (7:45、9:45、12:45、16:45、23:45)

<その他ZTVとの合意事項>

まだ担当者ベースの話ですが、「当会の活動内容や企画をZTVで定期的に流してほしい」とのお願いをして概ね了解を得ました。早ければ8月くらいから2ヶ月に1回程度：5分程度の放送枠を無料でもらえるそうです。コロナ明けに備えて浄厳院や近江八幡マチャ倶楽部などとも連携した活動を進めていきますので、皆様のご支援をよろしく願いいたします。